平成３１年２月１５日

智頭町議会議長　谷 口　雅 人　様

総務常任委員長　酒 本　敏 興

委 員 派 遣 結 果 報 告 書

本委員会の調査事件について下記のとおり委員を派遣したので、智頭町議会会議規則第７７条の規定により、下記のとおり報告します。

記

１．期　　日
平成３１年１月３０日（水）

２．場　　所
八頭郡智頭町大字智頭３２０「智頭町立智頭小学校」

３．内　　容
給食交流会への参加

４．目　　的
学校給食週間の意義と役割について理解を深め、児童・生徒と地元生産者との給食を通じた交流の場に参加することにより、今後の委員会・議員活動に資する。

５．派遣委員
委員５人（欠席１人）

６．所　　感（重複意見は整理）
全国学校給食週間（24～30 日）の最終日でしたが、智頭町の特産品を多く使った「ふるさと給食」を試食し、堪能しました。

郷土食の「どんどろけ飯」、「ほんもろこ」に「きくらげ」、生産者の丹精込めた野菜や加工品など、ちづの恵みが盛りだくさんの献立に感激しました。

また、栄養を第一に、ボリューム、単価、季節感、和･洋･中のバランスが年間を通じて工夫されていることに改めて感心するとともに、食材の町内調達率の向上ののため、生産者と一体となって努力されていることに感謝します。

各教室では、児童と生産者が交流されており、４年１組では、町内の休耕田で育てられた「ほんもろこ」の生産者を招き、お話を聞いた後に一緒に食事されていま

した。こうした取り組みは、児童への地元の食文化向上に資する良い事だと思います。
　交流会の最後までは滞在できませんでしたが、給食に対する児童の本音（様々な意見）は、学校や教育委員会としてどのように把握されているのか気になりました。